

## もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ .....	11-2
こんなことでお困りのときは！ .....	11-10
故障したときは！ .....	11-13
発炎筒を使うときは！ .....	11-13
工具とジャッキ .....	11-14
ジャッキアップのしかた .....	11-14
タイヤパンク応急修理キット .....	11-17
タイヤ交換のしかた .....	11-22
バッテリー上がりのときは！ .....	11-26
オーバーヒートしたときは！ .....	11-28
けん引 .....	11-30
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ .....	11-33
ヒューズが切れたときは！ .....	11-33
バルブ（電球）が切れたときは！ .....	11-38

警告灯が点灯または点滅したときは！

## 警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400102275

つぎの警告灯が点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、最寄りの販売会社へ連絡してください。

警告灯	点灯の原因
 ブレーキ警告灯 →P.4-13	<ul style="list-style-type: none"><li>●ブレーキシステムの異常</li><li>●ブレーキ液の不足</li><li>●ブレーキ配分機能の異常</li></ul> <p>パーキングブレーキをかけたままのときも点灯します。 パーキングブレーキを解除し、消灯すれば異常ではありません。</p>
 充電警告灯 →P.4-14	充電系統の異常
 (点灯と同時に車内ブザー が連続的に鳴る) →P.2-11	<ul style="list-style-type: none"><li>●ハンドルロックシステムの異常</li><li>●エンジンスイッチ電源の異常</li></ul>

つぎの警告灯が点灯したときは、ただちに最寄りの販売会社へ連絡してください。

警告灯	点灯の原因
 SRS エアバッグ／前席プリ テンショナー警告灯 →P.3-11, 3-22	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SRS エアバッグシステムの異常</li> <li>● 前席プリテンショナーシステムの異常</li> </ul>

つぎの警告灯が点灯したときは、できるだけ早く販売会社で点検を受けてください。

警告灯	点灯の原因
 電動パワーステアリング警 告灯 →P.5-39	パワーステアリングシステムの異常

## 警告灯が点灯または点滅したときは！

つぎの警告灯などが点灯または点滅したときは、安全な場所に停車し、まず車を点検してください。点検後も消灯しないまたは点滅が止まらないときは、最寄りの販売会社へ連絡してください。

警告灯／表示灯	点灯の原因	処置内容
 油圧警告灯 →P.4-14	エンジンオイルの圧力の低下	エンジンオイル量を点検する →別冊の「メンテナンスノート」参照
 高水温警告灯 (赤色) →P.4-14	冷却水がオーバーヒートしている	エンジンを冷却する →「オーバーヒートしたときは」 P.11-28
 ポジションインジケーター (1秒間に約1回点滅) →P.5-30 * : セレクター位置 がDの場合	オートマチックトランスミッション (CVT) オイルの温度が高くなっている	オートマチックトランスミッション (CVT) を冷却する →「警告表示」 P.5-30

## 警告灯が点灯または点滅したときは！

つぎの警告灯または表示灯が点灯したときは、急ブレーキや高速走行を避け、安全な場所に停車し、エンジンを停止してください。再度エンジンをかけ、その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。  
消灯しないときやたびたび点灯するときは、できるだけ早く販売会社で点検を受けてください。

警告灯／表示灯	点灯の原因
 ABS 警告灯 →P.5-38, 5-36	<ul style="list-style-type: none"><li>● ABS システムの異常</li><li>● ヒルスタートアシストシステムの異常 (除く、VDC 装着車)</li></ul>
 ビークルダイナミクス コントロール (VDC) 作動表示灯 および   VDC OFF 表示灯 →P.5-41	VDC システムの異常

## 警告灯が点灯または点滅したときは！

警告灯／表示灯	点灯の原因
 VDC 作動表示灯 (点灯) →P.5-36	ヒルスタートアシストシステムの異常 (VDC 装着車)

つぎの警告灯などが点灯または点滅したときは、すぐに停車する必要はありませんが、できるだけ早く販売会社で点検を受けてください。

警告灯／表示灯	点灯／点滅の原因
 エンジン警告灯 →P.4-14	エンジン制御システムの異常

警告灯／表示灯	点灯／点滅の原因
 ポジションインジケーター (2秒間に約1回点滅) →P.5-30 * : セレクター位置 が <b>D</b> の場合	オートマチックトランスミッション (CVT) に異常が発生し、安全装置が働いている
 (点灯) →P.2-11	インテリジェントキーシステムの異常

つぎの警告灯が点灯または点滅したときは、つぎの通り処置してください。  
 処置しても消灯しないときは、販売会社で点検を受けてください。

警告灯	点灯／点滅の原因	処置内容
 シートベルト 非装着警告灯 →P.3-10	運転席または助手席シートベルトが装着されていない	シートベルトを着用する

## 警告灯が点灯または点滅したときは！

警告灯	点灯／点滅の原因	処置内容
 半ドア警告灯 →P.4-15	いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉められていない	すべてのドアおよびテールゲートを閉じる
 燃料残量警告表示 →P.4-5	燃料が残り少なくなっている	燃料を補給する →P.2-21
 (点滅)	[ 点滅のみのとき (エンジンスイッチの電源モードを ACC または ON に切り換えたとき) ] キーの電池が消耗している	キーの電池を交換する →P.2-4
	[ 点滅のみのとき (エンジンスイッチを押したとき) ] キーが車内にない、もしくはキーの電池が切れている	キーをキーボックスに挿入してエンジンを始動する。 →P.5-17
	[ 点滅と同時に車外ブザーが鳴るとき ] インテリジェントキーシステムの誤操作防止機構が働いている	「インテリジェントキーシステム：警告表示について」を参照して処置してください。 →P.2-11

警告灯	点灯／点滅の原因	処置内容
 (点灯)	エンジンイモビライザー装置とキーの認証がで きていない	インテリジェントキーの作動範囲内でキーを携 帯する →P.2-9
	ハンドルロック装置に何らかの異常が起きてい る	ハンドルを再度固定する →P.5-16
 (点滅)	ハンドルロックが解除できていない	ハンドルロックを解除する →P.5-16

つぎの表示灯が点灯したときは、定期点検時期が近づいたことをお知らせしています。販売会社で点検を受けてください。



こんなことでお困りのときは！

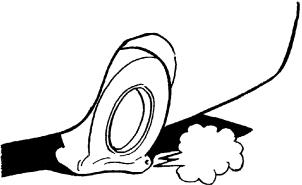
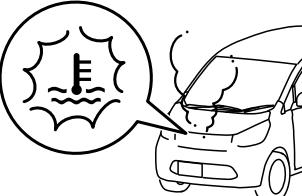
こんなことでお困りのときは！

J01400302886

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P.5-3
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一、走行中にエンストしたときは」→ P.5-4
エンジンスイッチが回らない。 (除く、インテリジェントキー付き車)	<b>LOCK から ACC に回らない</b> ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。 <b>ACC から LOCK に回らない</b> セレクターレバーが <b>P</b> に入っているか確認し、ACC の位置でキーを押しながら LOCK まで回してください。 「キーを抜くときは」→ P.5-14
エンジンスイッチを押してもエンジンがかからない。(インテリジェントキー付き車)	インテリジェントキーが車室内にあることを確認します。 「エンジンを始動する、電源モードを切り換えるときの作動範囲」→ P.2-9 セレクターレバーが <b>P</b> に入っていることを確認し、ブレーキを踏みながらエンジンスイッチを押してください。 「エンジンのかけ方」→ P.5-17

現象	処置
インテリジェントキー機能が作動しない。 (インテリジェントキー付き車)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インテリジェントキーに内蔵されているメカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠操作を行ってください。 「インテリジェントキー：インテリジェントキー機能を使わずに操作するときは」→P.2-14</li> <li>● インテリジェントキーを運転席前のアンダートレイ内にあるキーボックスに差し込んで、エンジンの始動、電源モードの切り換えを行ってください。 「エンジンのかけ方：インテリジェントキーが正常に作動しないとき（電池切れなど）または、スペアキーを使用してエンジンを始動するときは」→ P.5-17</li> </ul>
セレクターレバーが <b>P</b> から動かない。	ブレーキペダルを踏んだままセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチまたは電源モードがONの状態になっていることを確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P.5-28
雨の日、湿気の多い日などに窓が曇る。  	エアコンの内外気切り換えが、外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り、霜を取りたいときは」 → P.7-7, 7-15

## こんなことでお困りのときは！

現象	処置
パンクした。 	1.あわてずに、ハンドルをしっかり持ち、安全な場所に車を停止します。 2.パンクしたタイヤの応急修理をします。 「タイヤパンク応急修理キット」→P.11-17
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない、暗い。 ホーンが鳴らない、音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは！」→P.11-26
高水温警告灯（赤色）が点灯している。 エンジンルームから蒸気が出ている。  AJZ100097	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは！」→P.11-28
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ、雪道、凍結路などの発進時)	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 1.毛布か布などがあるときは、それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2.ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 ●何も滑り止めにするものがないときは、前後進を繰り返して車の反動を利用して脱出します。

## △注意

- 車の反動を利用して脱出するときは、車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは、むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み、かえって脱出しにくくなります。また、エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスマッキンションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは、専門業者に依頼してください。

現象	処置
CVT が変速しない。	CVT に異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。お近くの販売会社で点検を受けてください。
加速が鈍い。	CVT に異常が発生し、安全装置が働いているか、エンジン制御装置に異常が発生していると考えられます。高速走行を避けてできるだけ早く販売会社で点検を受けてください。

## 故障したときは！

J01400401789

故障して動けなくなったときは、同乗者または付近の人に応援を求め、安全な場所まで車を押して移動します。このとき、セレクターレバーを❶に入れください。

## 一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため、車を路肩に寄せ、非常点滅灯を点滅させるか、停止表示板などで故障表示します。

## 高速道路、自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板を置くことが義務付けられています。

人は車内に残らず、路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

### アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。販売会社でお買い求めください。

## 修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

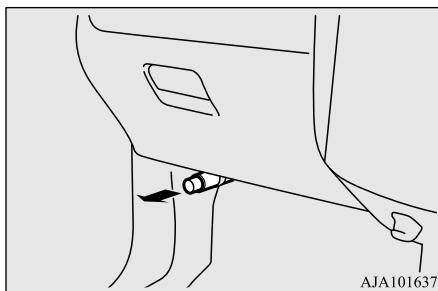
## 発炎筒を使うときは！

J01400501403

発炎筒は、高速道路や踏切などで故障し、緊急を要するときに使用します。

発炎筒は、グローブボックスの左下部に備え付けてあります。

使い方は発炎筒に記載されていますのであらかじめよく読んでおいてください。



### アドバイス

- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）がありますので、期限が切れる前に販売会社でお買い求めください。

### 工具とジャッキ

J01400601879

### 警告

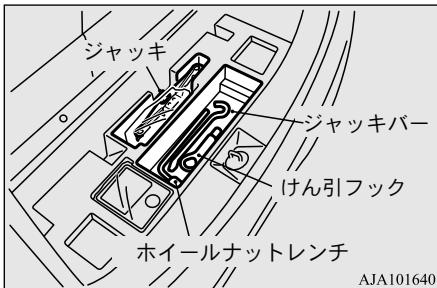
- お子さまには、発炎筒をさわらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。  
火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。  
煙により視界が悪くなり、重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

### アドバイス

- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。  
→「非常点滅灯スイッチ」P.4-19

### 格納場所

ラゲッジルーム内のラゲッジフロアボックスの中に格納されています。  
ジャッキはタイヤパンク応急修理キットの下にあります。



### 注意

- 工具やジャッキを使用した後は、元の位置に確実に格納してください。  
室内などに放置すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ジャッキは、タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。

### アドバイス

- 工具の種類、ジャッキの使い方は、万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

### ジャッキアップのしかた

J01400702688

### 警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき、重大な傷害を受けるおそれがあります。

### 注意

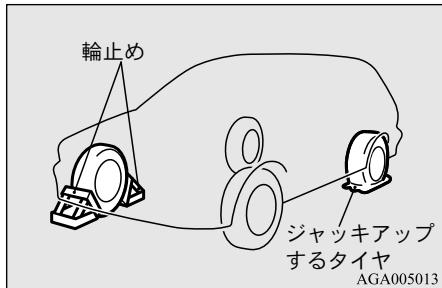
- ジャッキアップするときは安全のため、つぎのことを必ず守ってください。  
万一の場合、ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンをかけたままにしない。

## △注意

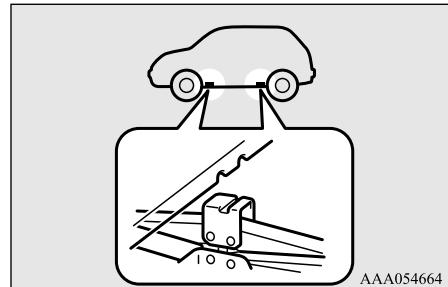
- ・人や荷物を乗せたままにしない。
- ・地面が平らで硬い場所以外では使用しない。
- ・凍結した路面では使用しない。
- ・ジャッキの上や下に物をはさまない。
- ・ジャッキアップ中に車をゆすらない。
- ・ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
- ・ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけ、セレクターレバーをPに入れて、エンジンを止めます。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、停止表示板などを車両後方に置きます。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



6. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置の下にジャッキを置きます。



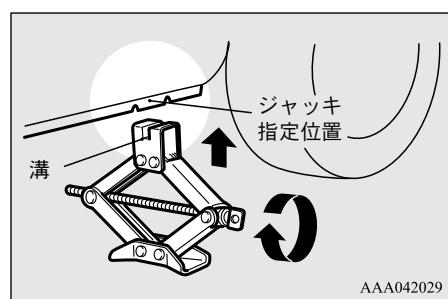
## △注意

- ・ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。  
万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## アドバイス

- ・輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- ・輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。  
→「工具とジャッキ」P.11-14



## ジャッキアップのしかた

### ⚠ 警告

- ジャッキ頭部の溝は、指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると、車体がへこんだり、ジャッキが倒れて、重大な傷害を受けるおそれがあります。

8. 図で示すようにジャッキバーとホイールナットレンチを組み付け、タイヤが地面から少し浮くまで静かにホイールナットレンチを右に回します。

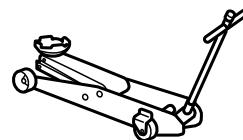


### ガレージジャッキを使用するときは

### ⚠ 警告

- ガレージジャッキを使用するときは、必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると、車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

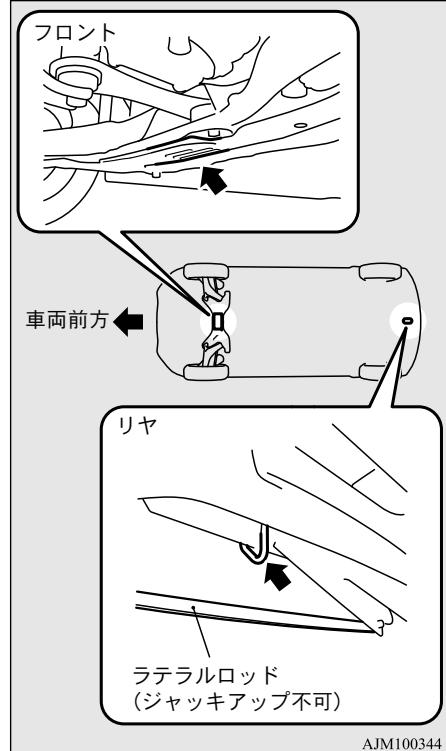
ガレージジャッキ



AAZ002051

- リヤ側をジャッキアップするときは、リヤサスペンションにガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。リヤサスペンションにガレージジャッキを当ててジャッキアップすると、車両を損傷するおそれがあります。

### ガレージジャッキセット位置



11

### ⚠ 注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## タイヤパンク応急修理キット

J01403801511

本キットはタイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを応急修理するものです。

お客様のお車には、スペアタイヤが搭載されていません。

### △警告

- タイヤパンク応急修理キットは必ず純正部品を使用してください。

### △注意

- 応急修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤がもし目に入ったり、皮膚に付いたりした場合は、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤にお子さまが誤って手を触れないようご注意ください。
- 応急修理キットで応急修理を行うときは、車を地面が平らで安全な場所に止めてください。

### アドバイス

- つぎのような場合は、応急修理剤を使つて修理することができません。  
販売会社またはJAFなど専門業者に連絡してください。JAFの営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 応急修理剤の有効期限が切れているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています。）



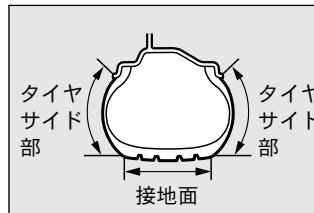
AAZ002064

### アドバイス

- 空気がほとんど抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールの外側へ完全に外れているとき
- ホイールが破損しているとき
- タイヤに刺さった釘やネジなどは、抜かずにそのまま応急処置をしてください。
- 応急修理剤が衣服などに付着すると、おちないおそれがあります。

### 格納場所と内容

ラゲッジルーム内のラゲッジフロアボックスの中に収納されています。



AAZ002077

## タイヤパンク応急修理キット



### 応急修理のしかた

J01407301240

1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけ、セレクターレバーをPに入れて、エンジンスイッチをLOCKまたは電源モードをOFFにします。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、停止表示板などを車両後方に置きます。

### アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。販売会社でお買い求めください。

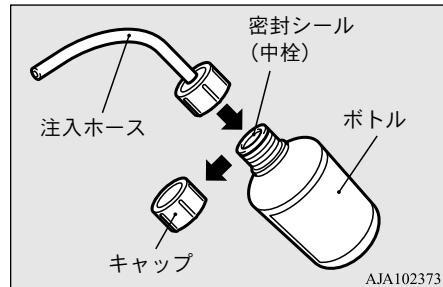
4. タイヤパンク応急修理キットを取り出し、応急修理剤のボトルをよく振ります。



### アドバイス

- 寒冷時(0°C以下)では、応急修理剤の粘度が高くなり注入しづらくなることがありますので、ボトルを振る前に車内などで温めてください。

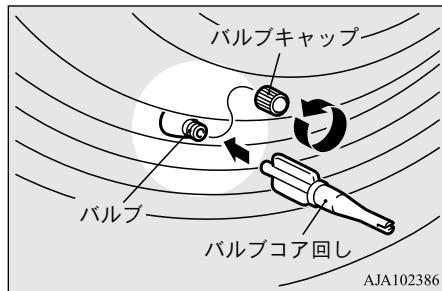
5. キャップを外し、応急修理剤の密封シール(中栓)をつけたまま注入ホースをボトルにねじ込みます。注入ホースをねじ込むと、密封シール(中栓)が破れ、修理剤が注入できる状態になります。



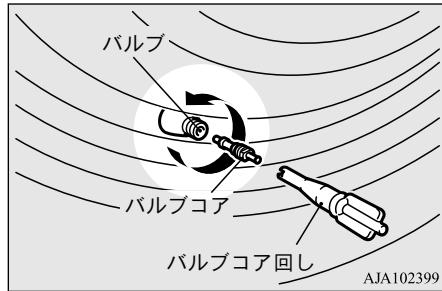
### 注意

- 注入ホースをねじ込んだ後、応急修理剤のボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び出しあそれがあります。

6. タイヤのバルブからバルブキャップを外し、バルブコア回しを図のように押しあてて、タイヤの空気を完全に抜きます。



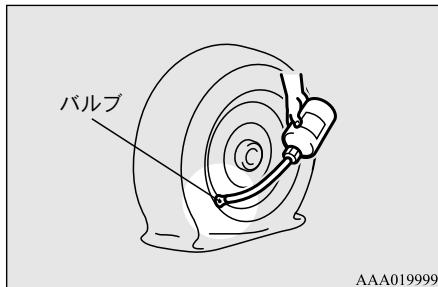
7. バルブコア回しでバルブコアを反時計回りに回して取り外します。  
取り外したバルブコアは、汚れないようにきれいな場所に保管します。



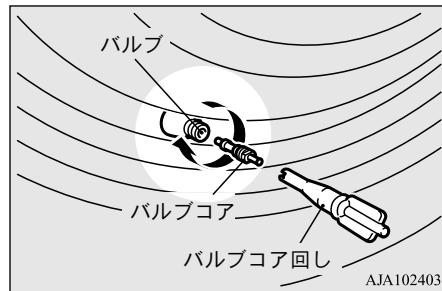
## △注意

- バルブコアを外すとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出し、けがをするおそれがありますので、完全に空気が抜けていることを確認してから外してください。

8. 注入ホースをバルブに差し込みます。  
応急修理剤のボトルを逆さまに持ち、手でボトルを何回も圧迫し、ボトル内のすべての修理剤をタイヤ内に注入します。



9. 注入後、注入ホースをバルブから引き抜き、バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しでしっかりと時計回りにねじ込んでください。



## アドバイス

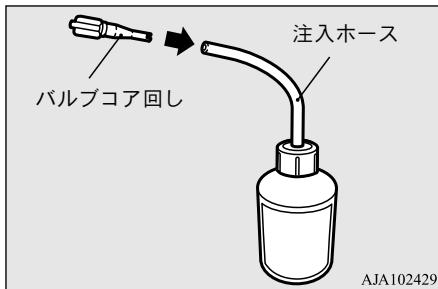
- バルブコア回しは、手で回してください。  
工具などを使って回すと、バルブコア回しが破損するおそれがあります。

## アドバイス

- 修理剤は、タイヤバルブがタイヤと地面の接地部分近く（最低部付近）以外の位置で注入してください。バルブが接地部分近くにあると、修理剤が入りにくい場合があります。

## タイヤパンク応急修理キット

10.注入が終わった空ボトルから修理剤が漏れるのを防ぐため、注入ホースの先端にバルブコア回しを差し込んで栓をします。

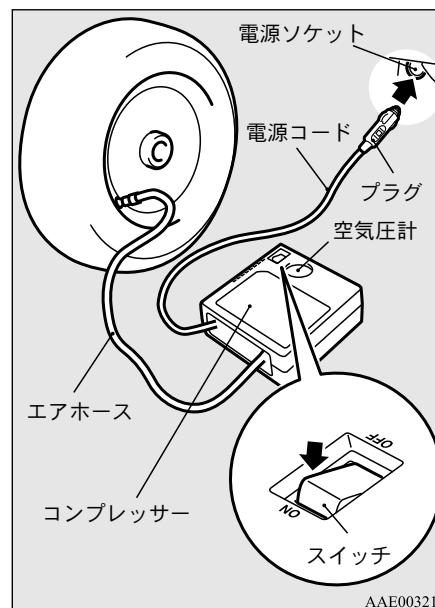


12.空気圧計を上にして、コンプレッサーを置きます。

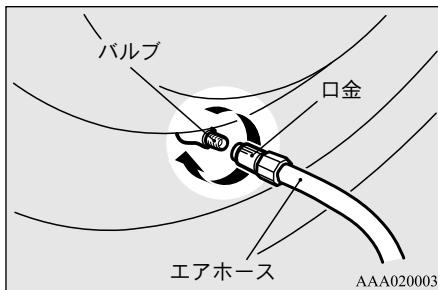
コンプレッサーの電源コードを取り出し、プラグを電源ソケットに差し込みます。

→「電源ソケット」P.6-2

エンジンスイッチまたは電源モードをACCにし、コンプレッサーのスイッチをONにして指定の空気圧まで昇圧します。→「タイヤの空気圧」P.12-7



11.コンプレッサーのエアホースを取り出し、口金をバルブに確実に取り付けます。



## ⚠ 注意

- 備え付けのコンプレッサーは、お客様のお車専用です。他の車には使用しないでください。
- 備え付けのコンプレッサーは、自動車用タイヤの空気充填用です。自動車用タイヤの空気充填や空気圧の点検以外での使用はしないでください。
- コンプレッサーの電源は、自動車用12V専用です。他の電源は接続しないでください。
- コンプレッサーには防水加工をしておりません。降雨時などは、水がかからないようにしてご使用ください。
- コンプレッサーは、砂埃などを吸い込むと、故障の原因になります。砂地など砂埃の多い場所に直接置いて使用しないでください。
- コンプレッサーの分解、改造などは絶対にしないでください。また、空気圧計などに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

13.コンプレッサーの空気圧計を使用して、空気圧を点検、調整します。

空気を入れ過ぎたときは、エアホースの口金をゆるめて空気を抜きます。

## ⚠ 注意

- タイヤがふくらむとき、タイヤとホイールの間に指などはさまないようにしてください。

**△注意**

- 使用中、コンプレッサーの表面が熱くなります。コンプレッサーは 10 分以上連続して作動させないでください。故障につながるおそれがあります。
- コンプレッサーの運転中に動作が鈍くなった場合は、オーバーヒート状態になっています。このような場合はただちにスイッチを OFF にし、30 分以上放置してください。

**△アドバイス**

- 10 分以内に指定の空気圧に昇圧できないときは、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあり、応急修理剤を使って応急修理することができません。販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

## 14. コンプレッサーのスイッチを OFF にしてから電源コードのプラグを電源ソケットから抜きます。

**△アドバイス**

- 本応急修理キットでタイヤに修理剤および空気を注入するだけではパンク穴はふさがりません。応急修理が完了するまで（手順 17. または 18. まで）は、パンク穴より空気が漏れます。

## 15. 速度制限シールを運転者によく見えるところに貼ります。

**△注意**

- ハンドルのセンターパッド部にはシールを貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。また、メーターや警告灯が見えなくなる位置にも貼らないでください。

## 16. 応急修理キットを車に搭載してただちに走行してください。

80km/h以下の速度で法定速度を守り、急ブレーキ、急ハンドル、急なアクセル操作を避けて慎重に運転してください。

**△注意**

- 走行中異常を感じたときは、運転を中止して販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。  
応急修理完了までに空気圧が低下して安全性を損なうおそれがあります。

## 17. 10 分間または約 5km 走行後、コンプレッサーの空気圧計でタイヤの空気圧を点検します。

空気圧の低下がなければ、応急修理完了です。つぎに手順 19. を行ってください。

タイヤの空気圧が不足している場合は、もう一度指定の空気圧まで昇圧し、走行します。

**△注意**

- 空気圧が最少空気圧 (130 kPa {1.3kgf/cm<sup>2</sup>}) より低下しているときは、応急修理剤での応急修理はできません。  
運転を中止して販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

## 18. 10 分間または約 5km 走行後、再びタイヤの空気圧を点検します。

空気圧の低下がなければ、応急修理完了です。

**△アドバイス**

- タイヤの空気圧が指定空気圧より低下していたら運転を中止して販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

### アドバイス

- 寒冷時(0°C以下)では修理完了までの時間、走行距離が長くなる場合があるため、2度目の空気圧の昇圧、走行後でもタイヤ空気圧が指定空気圧より低下することがあります。

そのような場合は、もう一度指定空気圧まで昇圧しさらに10分間または約5km走行後、もう一度空気圧を点検してください。それでも指定空気圧より低下する場合はこれ以上の運転を中止し販売会社またはJAFなど専門業者に連絡してください。

19. すみやかに販売会社まで慎重に運転し、タイヤの修理、交換を行ってください。

### 注意

- 必ず空気圧の点検を行い、応急修理の完了を確認してください。

### アドバイス

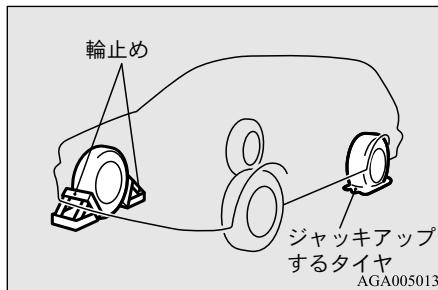
- 応急修理剤の空ボトルは、販売会社で新しい応急修理剤をお買い求めの際にお渡しください。
- 応急修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用する場合は販売会社にご相談ください。なお、応急修理後の恒久修理のとき、パンク穴を発見できず恒久修理できないことがあります。

## タイヤ交換のしかた

J01400902752

### タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけ、セレクターレバーをPに入れて、エンジンを止めます。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、停止表示板などを車両後方に置きます。
4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



### 注意

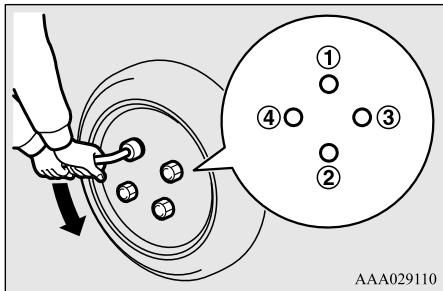
- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。  
万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### アドバイス

- 輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。  
→「工具とジャッキ」P.11-14
6. ホイールカバー付き車は、ホイールカバーを取り外します。  
→「ホイールカバー」P.11-25
7. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。  
→「ジャッキアップのしかた」P.11-14

8. ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に、手で回るくらいまでゆるめます。



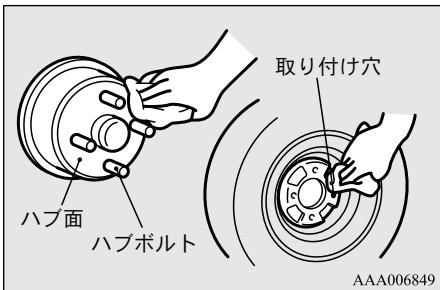
9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。  
10. ホイールナットを外し、タイヤを取り外します。

### アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。  
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

### タイヤを取り付けるときは

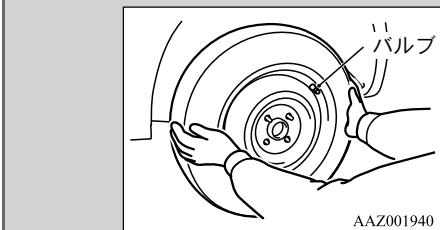
1. ハブ面、ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



2. タイヤを取り付けます。

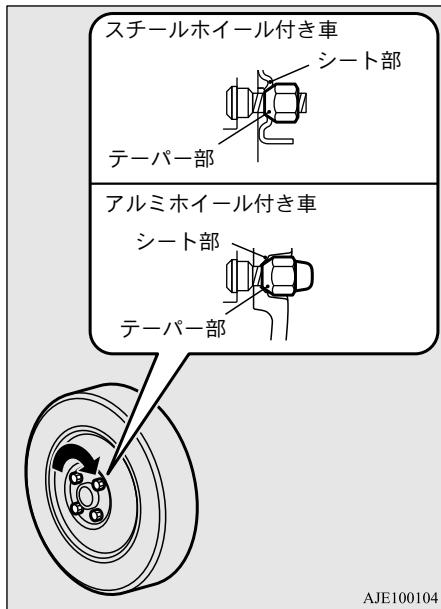
### 警告

- タイヤを取り付けるときは、タイヤの裏表に注意し、バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際、バルブが見えなければ、タイヤが裏向きに取り付けられています。  
タイヤの裏表を間違えて取り付けると、車両に悪影響をおよぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。



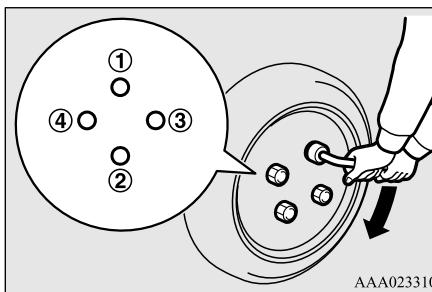
## タイヤ交換のしかた

3. ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり、タイヤががたつかない程度まで、手でホイールナットを回して仮締めします。



4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし、ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に2~3回に分けて、徐々に締め付けます。最後の締め付けは、確実に行ってください。

締め付けトルク : 88~108N·m  
{9~11kgf·m}



### △注意

- ハブボルト、ホイールナットには油を塗らないでください。  
ネジ部、ホイールなどの損傷の原因になります。

6. タイヤの空気圧を点検します。  
→「タイヤの空気圧」P.12-7

7. 工具とジャッキを元の位置に戻します。  
→「工具とジャッキ」P.11-14

8. 交換したタイヤは、ラゲッジルームに格納します。

### △注意

- タイヤ交換後、走行中にハンドルや車体に振動がでたときは、販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり、種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので、避けてください。

### アドバイス

- タイヤ交換したときは、約1,000km走行後、再度ホイールナットを締め付けて、ゆるみがないことを点検してください。

### △注意

- ホイールナットを締め付けるときは、ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車は、ホイールカバーを取り付けます。  
→「ホイールカバー」P.11-25

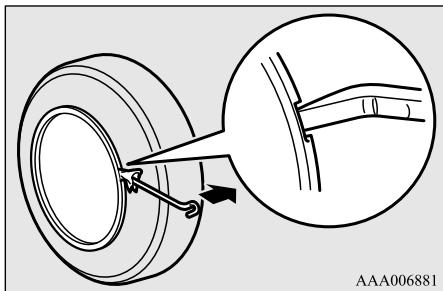
## ホイールカバー

タイプ別装備

J01402801569

## 取り外すときは

1. ジャッキバーの先に布をかぶせて、ホイールカバーの切り欠き部へ差し込み、タイヤ側にこじてカバーを少し浮かせます。



AAA006881

2. カバーが浮いたら、ホイールカバーの周囲に沿ってジャッキバーの差し込み位置を変えながら、少しずつこじってカバーを取り外します。

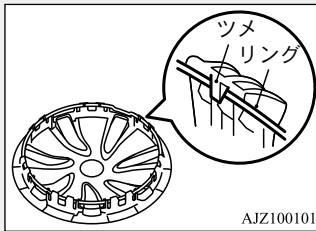
## △注意

- ホイールカバーが外れるまでジャッキバーを使ってください。手でこじるとホイールカバーの端などだけがをするおそれがあります。

## 取り付けるときは

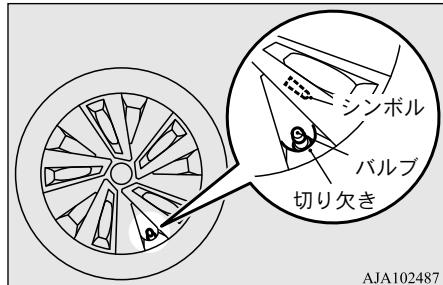
## △注意

- ホイールカバーを取り付ける前に、裏面のツメがリングに正しく組み付いていることを確認してください。また、ツメが折れているときはホイールカバーを取り付けないでください。走行中にホイールカバーが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



AJZ100101

1. タイヤのバルブ(空気注入口)とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。



AJA102487

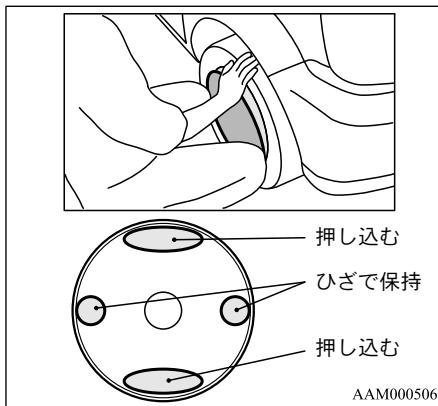
## △アドバイス

- カバー裏側に切り欠き部の位置を表示するシンボルがあります。ホイールカバーを取り付ける前に、シンボルとバルブの位置が正しく合っていることを確認してください。

2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。
3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み、両ひざで保持します。

## バッテリー上がりのときは！

4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。



このような場合は、ブースターケーブル（別売）を使用し、他車のバッテリーを電源として、つぎの要領でエンジンをかけることができます。

### △警告

- ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは、取扱説明書に従って正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると、引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

### △注意

- 救援は必ず 12V で、自車と同容量以上のバッテリーを装着している車に依頼してください。
- ブースターケーブルは、バッテリー容量に適したものを使用してください。また、破損や腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。

11

## バッテリー上がりのときは！

J01401002516

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターティングモーターが回らない。または、回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または、いつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または、鳴っていつもより音が小さい。

### アドバイス

● インテリジェントキー付き車は、バッテリーを外してもエンジンスイッチの電源モードの状態を記憶しています。救援車とブースターケーブルで接続したときは、電源が絶たれる前の電源モードの状態に戻ります。

バッテリーが上がる前の電源モードの状態がわからない場合は、十分注意してください。

1. ブースターケーブルが接続でき、かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。
2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車のパーキングブレーキを確実にかけ、マニュアル車はシフトレバーを N、オートマチック車、CVT 車はセレクターレバーを P に入れ、エンジンを止めます。

### △警告

- ブースターケーブルの接続時は、救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて、けがをするおそれがあります。
- 冷却ファンはエンジン始動後、冷却水の温度により回転、停止をくり返します。エンジン運転中は、ファンに手を近づけないでください。

4. バッテリー液量を確認します。

### ⚠️ 警告

- バッテリー液量が下限 (LOWER LEVEL) 以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり、発熱や爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり、目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い、速やかに専門医の治療を受けてください。

### 💡 アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。

- ① 自車のバッテリーの+端子
- ② 救援車のバッテリーの+端子
- ③ 救援車のバッテリーの-端子
- ④ 図で指示の箇所 (アースをとる)



### ⚠️ 警告

- ブースターケーブルを接続するときは、必ずつぎのことをお守りください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルは正しい順番、位置に接続する
- ブースターケーブルの+と-端子を接触させない
- 自車バッテリーの-端子に直接つながない
- バッテリー付近で喫煙したり、マッチやライターなどを使用しない

### ⚠️ 注意

- ブースターケーブルは、確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると、ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 💡 アドバイス

- バッテリーの+端子は、カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。

6. 接続した後、救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を少し上げます。

## オーバーヒートしたときは！

### 7. 自車のエンジンをかけます。

#### アドバイス

- アイドリングストップ付き車は、アイドリングストップOFFスイッチを押してアイドリングストップを停止し、バッテリーが十分に充電される前にエンジンが自動的に停止することがないようにしてください。  
→「アイドリングストップを非作動にするには」P. 5-25

### 8. エンジンがかかったら、ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。

### 9. 最寄りのガソリンスタンドや販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

#### アドバイス

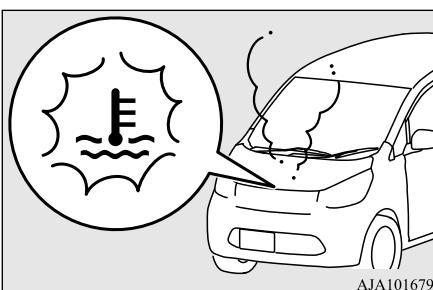
- アイドリングストップ付き車には専用バッテリーが装着されています。専用バッテリーを使用しないとバッテリーが早く消耗したり、アイドリングストップが正常に作動しなくなる原因となります。  
詳しくは販売会社にご相談ください。  
→「バッテリーの種類」P.12-5

## オーバーヒートしたときは！

J01401102474

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- 高水温警告灯（赤色）が点灯したり、エンジンの出力が急に低下し、エンジン音が大きくなる。
- エンジンルームから蒸気が出ている。



つぎの要領にしたがい処置してください。

### 1. 車を安全な場所に止めます。

### 2. エンジンルームから蒸気が出でていなければどうかを確認します。

[蒸気が出でていないとき]

エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け、風通しをよくします。

#### アドバイス

- アイドリングストップ付き車は、アイドリングストップOFFスイッチを押して、停車前にアイドリングストップを停止してください。  
→「アイドリングストップを非作動にするには」P. 5-25

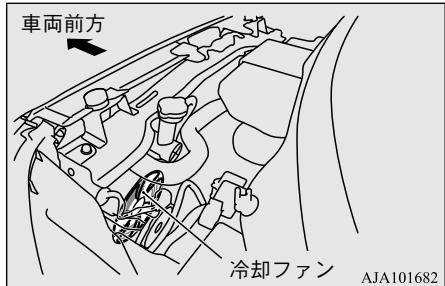
[蒸気が出でているとき]

エンジンを止め、蒸気が出なくなったら、風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け、エンジンをかけます。

## ⚠️警告

- エンジルームから蒸気が出ているときは、エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどをするおそれがあります。蒸気が出でていないときでも、熱湯が噴き出していたり、高温になっている部分がありますので、エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。

3. 冷却ファンが作動しているか確認します。



4. エンジンが十分冷えてから、コンデンスタンクのキャップを引き抜き、キャップに付いているゲージの目盛りで冷却水の有無を点検します。

冷却水が不足しているときは、ラジエーターおよびコンデンスタンクに冷却水を補給します。

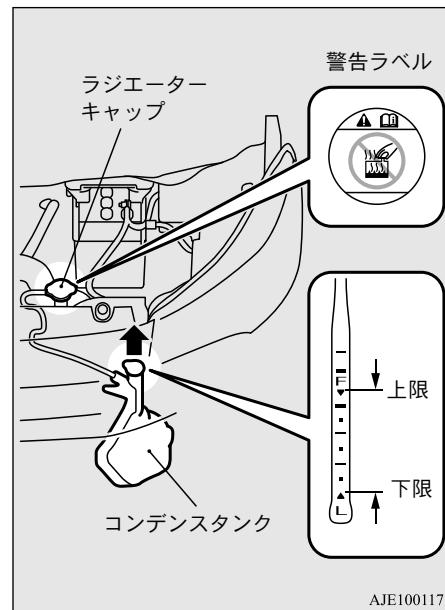
冷却水がないときは、応急処置として水を補給します。

[冷却ファンが作動しているとき]  
高水温警告灯が消灯した後で、エンジンを止めます。

[冷却ファンが作動していないとき]  
すぐにエンジンを止めて自然冷却し、販売会社へ連絡してください。

## ⚠️警告

- 冷却ファンに、手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。



### ⚠️警告

- 通常はラジエーター・キャップを外さないでください。

冷却水には圧力がかかっているため、冷却水の温度が高いときにキャップを外すと、蒸気や熱湯が噴き出し、やけどをするおそれがあります。

### ⚠️アドバイス

- JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

### ⚠️アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- 冷却水を補給するときはジョッキを使用してください。

## けん引

J01401202488

11

けん引はできるだけ JAF など専門業者に依頼してください。

つぎの場合は、販売会社にご連絡ください。

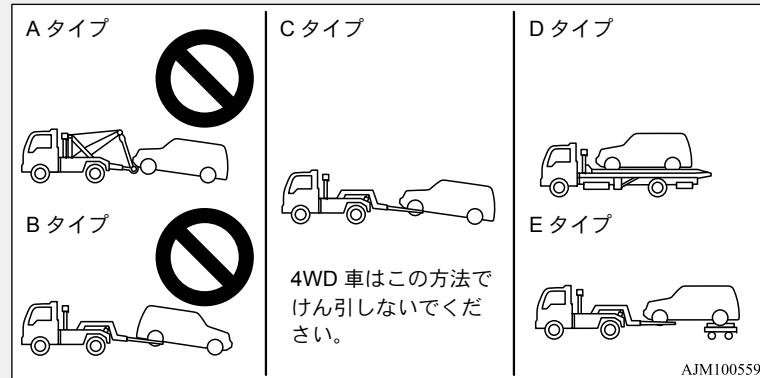
- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し、オイルなどが漏れている。

また、車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず、販売会社または JAF など専門業者に依頼してください。

## レッカー車に搬送してもらうとき

### △注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でけん引しないでください (A タイプ)。  
バンパーや車体が破損するおそれがあります。
- 2WD 車は、必ず駆動輪（前輪）を持ち上げてけん引するか、4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください (C, D, E タイプ)。  
後輪だけを持ち上げてけん引すると、トランスミッション内部のオイル切れを起こし、トランスミッション故障の原因になります (B タイプ)。
- 2WD 車のピークルダイナミクスコントロール (VDC) 装着車で前輪だけを持ち上げてけん引するときは (C タイプ)、エンジンスイッチの電源モードを OFF または ACC の状態にしてください。  
エンジンスイッチの電源モードが ON の状態で行うと、VDC が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 4WD 車は必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。 (D,E タイプ)  
前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと、駆動系部品が損傷したり、車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。 (B,C タイプ)

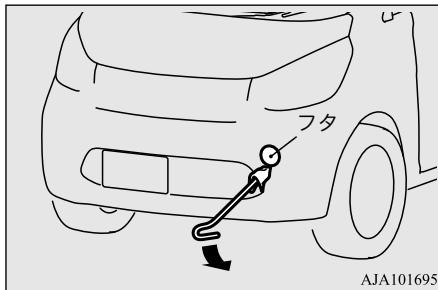


## 他車にけん引してもらうとき

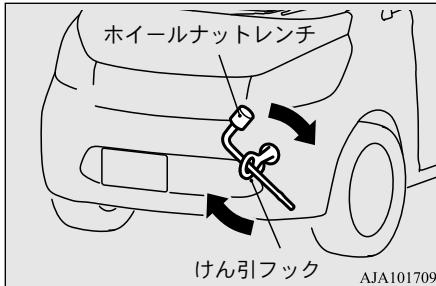
J01403902681

やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは、つぎの要領で行ってください。

1. けん引フック、ホイールナットレンチ、ジャッキバーを取り出します。  
→「工具とジャッキ」P.11-14
2. ジャッキバーの先に布をかぶせて、フロントバンパーの助手席側にあるフタを取り外します。



3. けん引フックをホイールナットレンチを使用して確実に取り付けます。



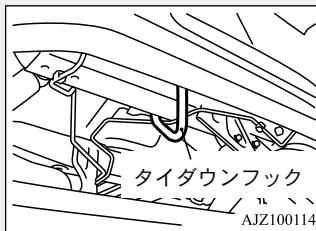
4. けん引ロープをけん引フックにかけます。

## アドバイス

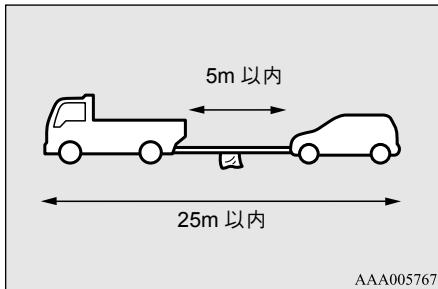
- けん引ロープは、販売会社でお買い求めください。
- けん引フックにロープをかけるときは、車体の破損・変形を防ぐためにつぎのことに気をつけてください。
  - ・けん引フックは確実に取り付けてください。
  - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
  - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。

## △注意

- 車体後部のタイダウンフックは、車両を輸送するときに使用するものです。  
けん引には使用しないでください。  
けん引フック以外にけん引ロープをかけると、車体が破損するおそれがあります。



5. けん引ロープには、30cm 平方（タテ30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



6. エンジンはできるだけかけておいてください。

エンジンがかからないときは、ハンドルがロックされないようにするために、エンジンスイッチまたは電源モードをONにします。

## ⚠️ 警告

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。
- エンジンスイッチまたは電源モードをONにしておかないと、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。

## 💡 アドバイス

- アイドリングストップ付き車は、アイドリングストップ OFF スイッチを押して、停車前にアイドリングストップを停止してください。  
→「アイドリングストップを非作動にするには」P. 5-25

7. セレクターレバーをNに入れます。

8. 後続車に注意をうながすため、けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。

→「非常点滅灯スイッチ」P.4-19

## ⚠️ 警告

- 急ブレーキ、急発進、急旋回など、けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合、その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して、効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

## ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401301378

ディスクブレーキには、ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

## 💡 アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは、販売会社でブレーキパッドを点検してください。

## ヒューズが切れたときは！

J01401502234

各種のランプが点灯しないときや、電気系統の装備が作動しないときは、ヒューズが切れていることがありますのでヒューズを点検し、切れているときは交換してください。

## ヒューズボックスの位置

## 室内

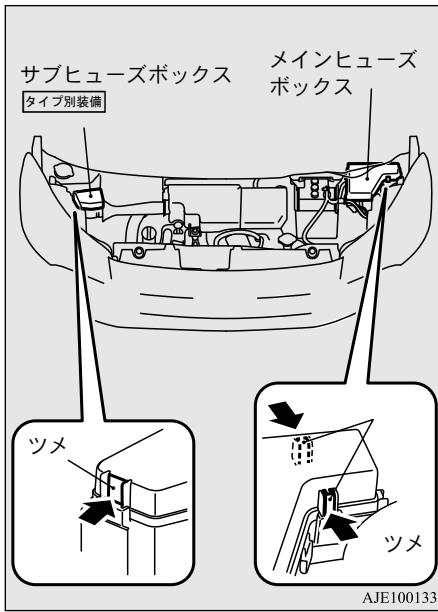
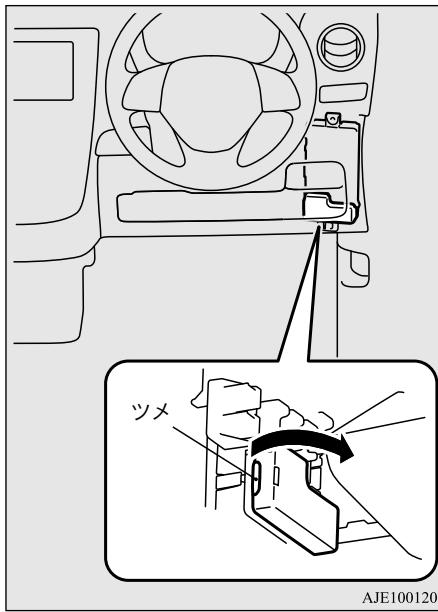
運転席の足元にあります。ツメ部を引いてカバーを取り外します。

## 他車のけん引

J01404101654

この車で他車をけん引することはできません。

## ヒューズが切れたときは！

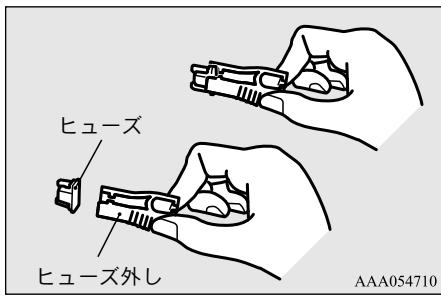


- 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。  
→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P.11-35

### アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は、ヒューズボックスカバーに記載しています。

- ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは、室内のヒューズボックスカバーの内側にあります。



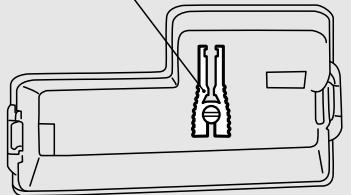
## エンジンルーム内

ツメを押してロックを外し、カバーを持ち上げて取り外します。

## ヒューズの交換

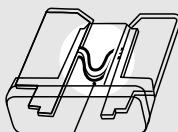
- エンジンスイッチまたは電源モードをつぎの状態にします。  
[除く、インテリジェントキー付き車]  
エンジンスイッチがLOCKの状態。  
[インテリジェントキー付き車]  
電源モードがOFFの状態。

ヒューズ外し

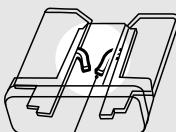


AJA101712

4. ヒューズを点検し、切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。



正常



ヒューズ切れ

AAA054723

## △警告

●取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金、銀紙などを使用すると、電線の過熱により火災のおそれがあります。

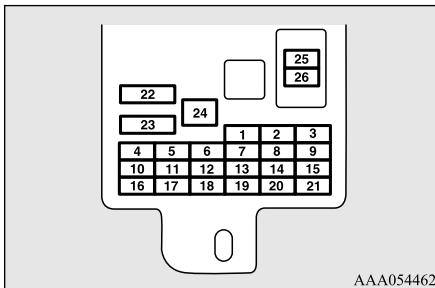
## アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは、販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは、他の原因が考えられます。すみやかに販売会社で点検を受けてください。

## 各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403702618

### 室内



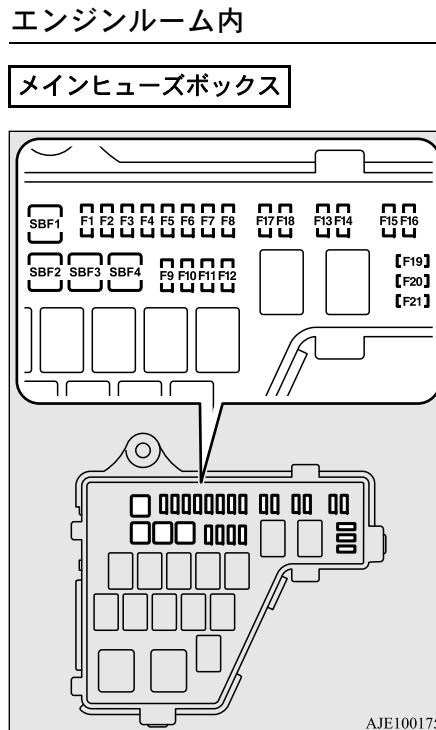
NO.	表示	装備	容量
1	300E	尾灯 (テールライト) (左)	7.5A

NO.	表示	装備	容量
2	□	電源ソケット	15A
3	□	イグニッション コイル	10A
4	□	スターター	7.5A
5	—	—	—
6	□	電源ソケット	15A
7	300E	尾灯 (テールライト) (右)	7.5A
8	□	ドアミラー	7.5A
9	□	エンジン コントロール ユニット	7.5A
10	□	コントロール ユニット	7.5A
11	SS	リヤヒーター ファン	10A
12	□	ドアロック	15A
13	300E	室内灯 (ルームランプ)	10A
14	□	リヤワイパー	15A
15	□	メーター	7.5A
16	□	リレー	7.5A
17	□	ヒーター付シート	20A
18	OPTION	オプション	10A

## ヒューズが切れたときは！

NO.	表示	装備	容量
19	■	ヒーター付 ドアミラー	7.5A
20	□	フロントワイパー	20A
21	Ⓐ	後退灯（バック アップランプ）	7.5A
22	■■	デフォッガー	30A
23	☲	ヒーター	30A
24	—	—	—
25	♫	ラジオ	10A
26	⌚	コントロール ユニット	15A

- 11
- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
  - 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主要な装備を表しています。



NO.	表示	装備	容量
SBF1	■	ラジエーター ファンモーター	40A

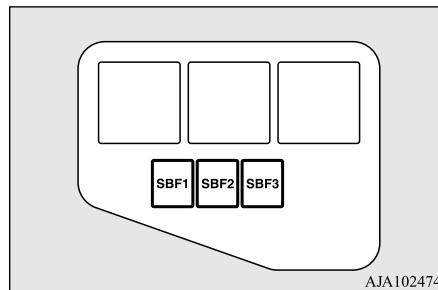
NO.	表示	装備	容量
SBF2	⟳	イグニッション スイッチ	40A
SBF3	▣	パワー ウインドウ	40A
SBF4	♫	DC-DC (オーディオ)	40A
F1	▶	ホーン	15A
F2	✿	エアコン コンプレッサー	10A
F3	△	非常点滅灯	15A
F4	A/T	オートマチック トランス ミッション	10A
F5	STOP	制動灯 (ブレーキランプ)	15A
F6	◐	オルタネーター	7.5A
F7	◐◑	フォグランプ	15A
F8	⌚	コントロール ユニット	10A
F9	↑◐	電動スライド ドア（左）	30A
F10	◐↓	電動スライド ドア（右）	30A
F11	◐	エンジン	30A
F12	◑	ETV	15A

NO.	表示	装備	容量
F13	Ⓐ	ヘッドランプ (上向き) (左)	10A
F14	Ⓐ	ヘッドランプ (上向き) (右)	10A
F15	Ⓐ	ヘッドランプ (下向き) (左)	10A
		キセノン	20A
F16	Ⓐ	ヘッドランプ (下向き) (右)	10A
		キセノン	20A
F17	⌚	スターター	7.5A
	⌚	DC-DC (コントロール ユニット)	
F18	Ⓑ	バッテリー センサー	7.5A
F19	⌚	フューエル ポンプ	15A
F20	⌚	ENG/POWER	15A
F21	⌚	ホーン	10A

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。

- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主要な装備を表しています。

**サブヒューズボックス**



NO.	表示	装備	容量
SBF1	Ⓑ	PTC 素子 ヒーター	40A
SBF2	Ⓑ	PTC 素子 ヒーター	40A
SBF3	Ⓑ	PTC 素子 ヒーター	40A

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主要な装備を表しています。

## バルブ（電球）が切れたときは！

### バルブ（電球）が切れたときは！

J01401602033

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは、バルブ（電球）が切れていることがあります。

バルブ（電球）を点検し、切れているときは各バルブの交換要領にしたがって交換してください。

11

### バルブ（電球）の位置・W（ワット）数

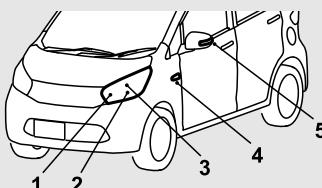
J01406201112

#### 車外照明

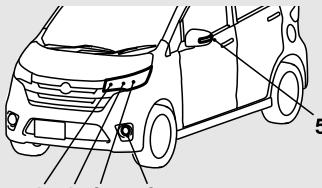
J01406801668

##### ■ フロント

除く、キセノンヘッドライト付き車



キセノンヘッドライト付き車



AJ4100163

2	車幅灯	5W (W5W)
3	ヘッドライト 除く、キセノンヘッドライト付き車	60/55W (H4)
	キセノンヘッドライト付き車	35W
4	方向指示灯／非常点滅灯 (サイド、フェンダー装着) <small>タイプ別装備</small>	5W
5	方向指示灯／非常点滅灯 (サイド、ドアミラー装着) <small>タイプ別装備</small>	—
6	フォグランプ <small>タイプ別装備</small>	19W (H16)

●( )内はバルブ（電球）の型式を示しています。

#### ⚠ 警告

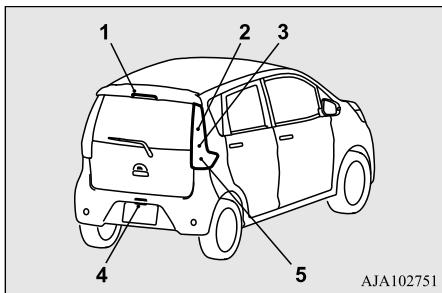
●キセノンヘッドライトの修理・バルブ交換の際は必ず販売会社にご相談ください。

電源回路、バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており、感電するおそれがあります。

1	方向指示灯／非常点滅灯 (フロント)	21W (PY21W)
---	-----------------------	----------------

 **アドバイス**

- 方向指示灯／非常点滅灯(サイド)のバルブの修理・交換は販売会社にご相談ください。

**■ リヤ**


1	ハイマウントストップランプ	—
2	方向指示灯／非常点滅灯(リヤ)	21W (WY21W)
3	後退灯	16W (W16W)
4	番号灯	5W (W5W)
5	制動灯／尾灯	21/5W (W21/5W)

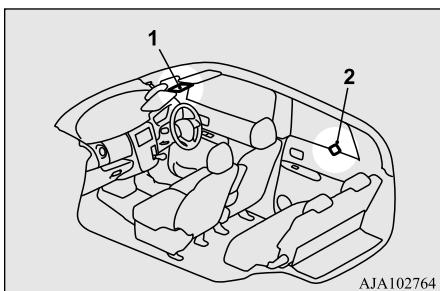
- ( )内はバルブ（電球）の型式を示しています。

 **アドバイス**

- ハイマウントストップランプのバルブの修理・交換は販売会社にご相談ください。

**車内照明**

J01406301504



1	ルーム＆マップランプ	8 W
2	ラゲッジランプ	8 W

**バルブ（電球）の交換**

J01401701910

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていない

バルブの交換については、販売会社にご相談ください。

- 該当するランプスイッチを OFF にして、エンジンスイッチを“LOCK”または電源モードを OFF にします。
- 該当するランプの W (ワット) 数を確認します。  
→「バルブ（電球）の位置・W (ワット) 数」P.11-38
- 各ランプの交換要領にしたがってバルブを交換します。

**△ 注意**

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。

バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

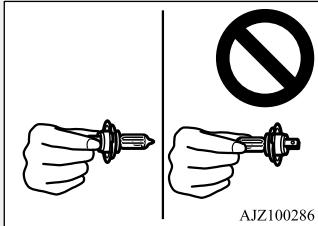
## バルブ（電球）が切れたときは！

### ⚠ 注意

- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。

点灯中はバルブの表面が高温になるため、油などが付着すると、点灯したときの熱で破損するおそれがあります。

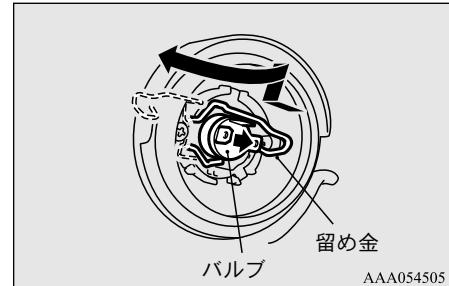
バルブの表面に触れたときは、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて、油をふき取ってください。



### ⚠ アドバイス

- 雨の日や洗車後などに、レンズ内側が曇ることがあります。これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で、機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。ただし、ランプ内に水がたまっているときは、販売会社で点検を受けてください。

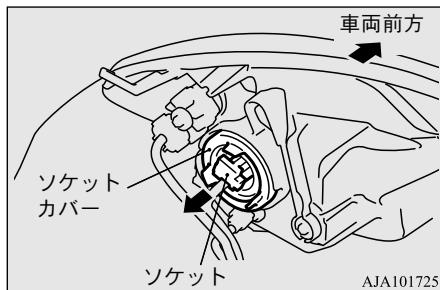
2. 留め金を外し、矢印の方向に引き起こして、バルブを抜き取ります。



### ヘッドライト（除く、キセノンヘッドライト付き車）

J01401902863

1. ソケットを引き抜き、ソケットカバーを外します。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

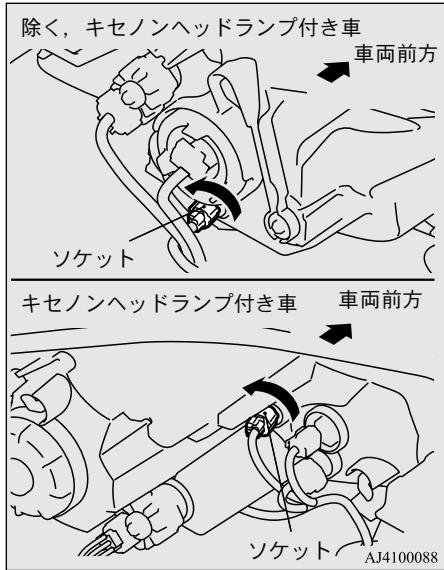
### ⚠ アドバイス

- バルブを交換するときは、同じW（ワット）数、同じバルブ色のものを使用してください。
- ランプ本体やレンズを外すときは、車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は、ランプが正しく点灯するか確認してください。

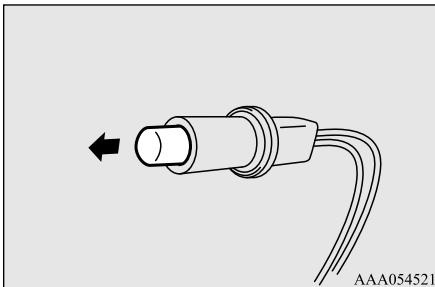
## 車幅灯

J01402001910

- ソケットを反時計回りに回して外します。



- ソケットからバルブを引き抜きます。

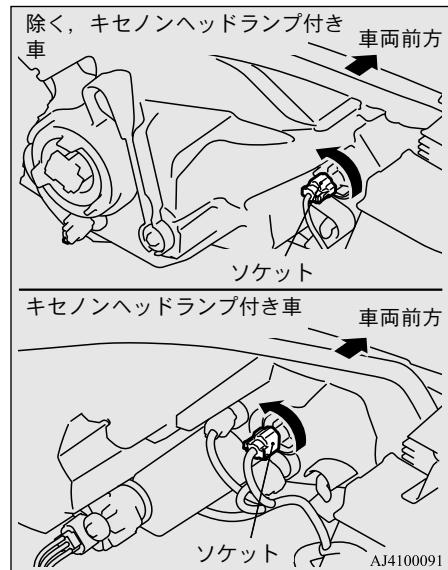


- 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

## 方向指示灯（フロント）

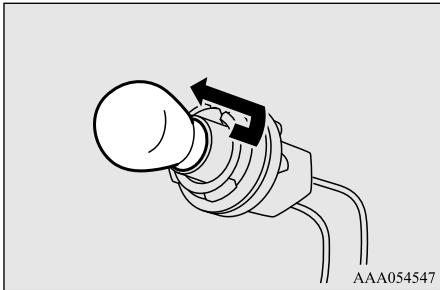
J01402101823

- ソケットを反時計回りに回して外します。



## バルブ（電球）が切れたときは！

2. バルブを押し込みながら反時計回りに回して外します。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

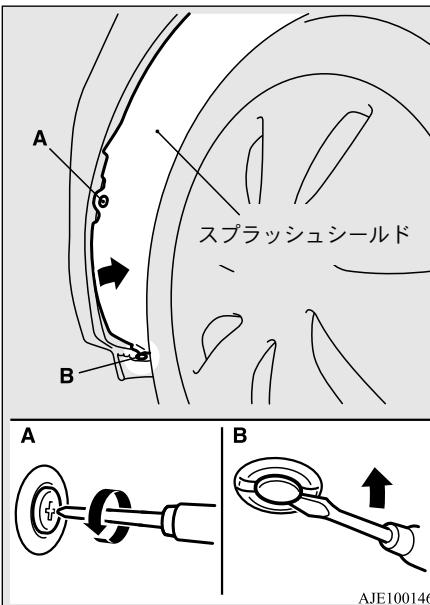
11

### フォグランプ

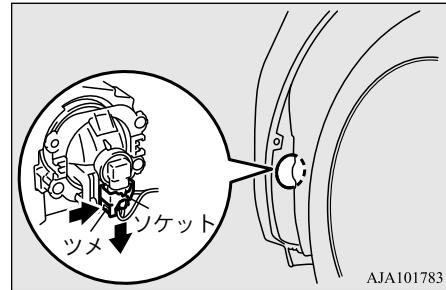
タイプ別装備

J01403201951

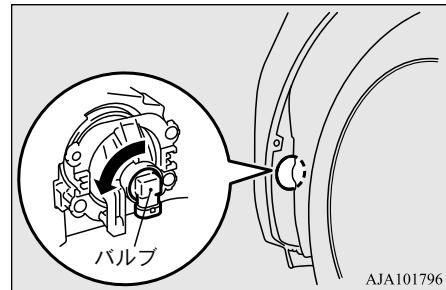
1. クリップ (A, B) を図の要領で外し、スプラッシュシールドをめくります。



2. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。



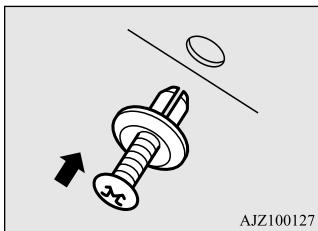
3. バルブを反時計回りに回して外します。



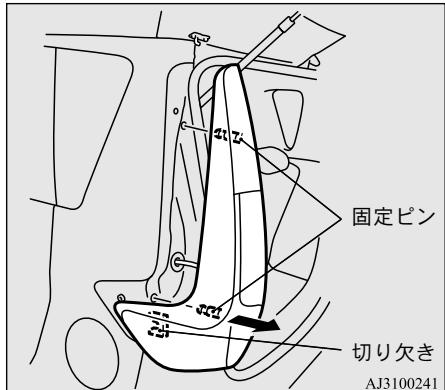
4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

### アドバイス

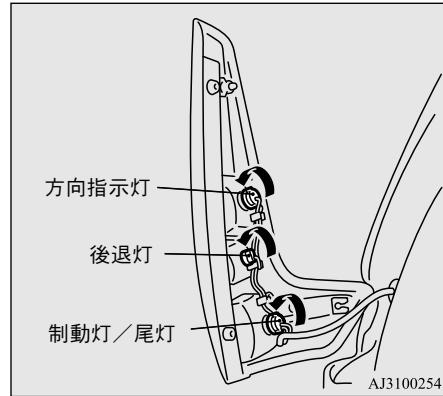
- クリップを取り付けるときは図の状態で穴に差し込み、押さえつけます。



3. ランプユニットを手前に引き、ランプの裏側にある固定ピンと切り欠きを外します。



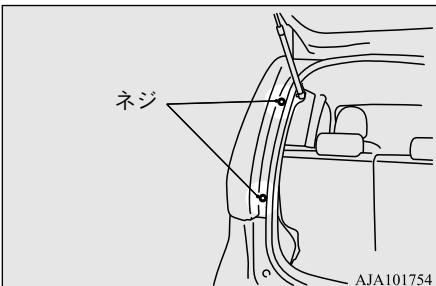
4. ソケットを反時計回りに回して外します。



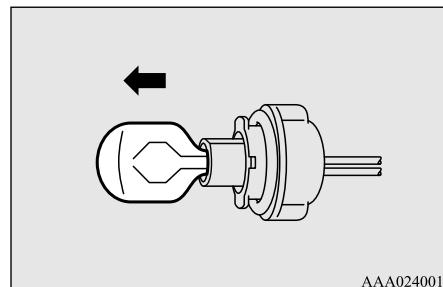
### リヤコンビネーションランプ

J01403001816

1. テールゲートを開きます。  
→「テールゲート」P.2-18
2. ネジを取り外します。



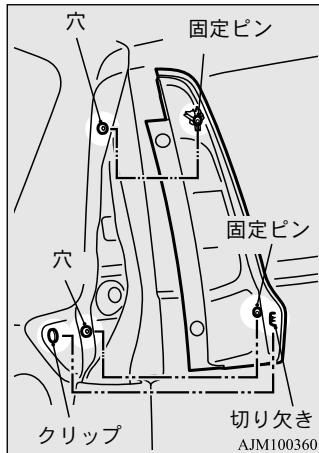
5. ソケットからバルブを引き抜きます。



6. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

## アドバイス

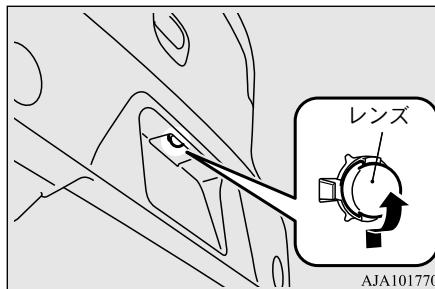
- ランプ本体を取り付ける際はランプ本体の固定ピンを車体側の穴に、切り欠きを車体側のクリップ位置に合わせ、取り付けます。



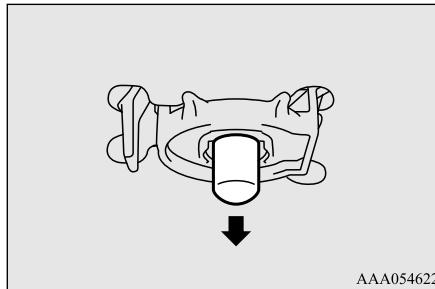
## 番号灯

J01402601730

1. レンズを車両後方に押しながら、手前に引いて外します。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

